

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公表番号】特表2009-509582(P2009-509582A)

【公表日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2008-532440(P2008-532440)

【国際特許分類】

A 6 1 C 13/00 (2006.01)

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

A 6 1 F 9/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 13/00 Z

A 6 1 B 19/00 5 0 2

A 6 1 F 9/02

H 0 4 N 5/232 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の較正画像セットを取得する工程、及び

前記較正画像セットからルックアップテーブルシステムを構築する工程であって、ルックアップテーブルシステムは、較正3次元データを計算するための1つ以上のパラメータと画像セットデータとを関連付ける工程を含む、方法。

【請求項2】

画像セットを取得する工程であって、各画像セットに前記画像セットの処理メッシュ内の位置と関連付けられている少なくとも1つの視差値が含まれる工程、

前記処理メッシュ内の位置及び前記少なくとも1つの視差値をルックアップテーブルシステムに適用する工程であって、ルックアップテーブルシステムは1つ以上のパラメータに対応する工程、及び

1つ以上のパラメータ及び視差値から較正3次元データを計算する工程を含む、方法。

【請求項3】

マルチチャネルイメージングシステムを較正する方法であって、

前記イメージングシステムの第1のチャネル用のモデルを割り出す工程、

画像データセットを得るとともに、前記画像データセットからのデータを前記モデルに適合することによって、第1のチャネルを較正する工程、及び

前記画像データセットの1つ以上の視差値を既知の深度にマッピングすることによって、第2のチャネルを較正する工程を含む、方法。

【請求項4】

複数の光学チャネルであって測定容量内の点に画像データを提供する光学チャネル、

メモリ内に格納されているルックアップテーブルであって深度依存性モデルの1つ以上のパラメータが格納されているルックアップテーブル、及び

前記画像データと前記ルックアップテーブルとから得た1つ以上のパラメータを適用して、較正アウトプットを復元せしめるように構成されているプロセッサを備える、イメージングシステム。

【請求項5】

イメージングシステムの較正を精密化する方法であつて、
1つ以上の既知のパラメータを有する3次元物体を含む測定容量から画像データを得る工程、

前記画像データ内の前記3次元物体の第1の投影輪郭を識別する工程、

前記1つ以上の既知のパラメータと前記イメージングシステムのモデルを用いて前記3次元物体の第2の投影輪郭を分析的に割り出す工程、及び

前記第1の投影輪郭と前記第2の投影輪郭の偏差を最小化することによつて、前記イメージングシステムの較正を精密化する工程を含む、方法。

【請求項6】

平面、

前記平面上で既知の位置を有する複数の基点、及び

前記複数の基点間のランダムパターンを備える、較正ターゲット。